

会議開催結果概要書

1 審議会等の名称	岸和田市生涯学習審議会
2 開催日時	令和8年2月13日(金) 午前10時~11時35分
3 開催場所	岸和田市職員会館 2階 大会議室
4 公開・非公開の別	(公開) ・ 非 公 開)
5 非公開理由 (非公開の場合のみ)	
6 出席者	委員13名、事務局7名
7 傍聴人数 (公開の場合のみ)	2名
8 議題及び審議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 案 件 (1)次期生涯学習計画等について 3. その他 (1)生涯学習支援チームの活動報告について 4. 閉 会
9 そ の 他	

生涯学習審議会 会議録

内容承認	佐藤会長：承認 中村副会長：承認
会議名	令和7年度 第2回生涯学習審議会
日時	令和8年2月13日（金）午前10時～11時35分
場所	岸和田市職員会館 2階 大会議室
出席委員	佐藤会長、中村副会長、中野委員、野委員、平松委員、池内委員、吉田委員 福村委員、池田委員、杉原委員、上月委員、楠本委員、峯近委員 以上13名
欠席委員	藤原委員、寺戸委員、渡辺委員 以上3名
事務局	池内生涯学習部長 【生涯学習課】長谷川課長、加柴特命参事、西川担当主幹、畑部担当長、 藤田主査、山本会計年度任用職員 以上7名
傍聴人数	2人
次第	1. 開会 2. 案件 (1) 次期生涯学習計画等について 3. その他 (1) 生涯学習支援チームの活動報告について 4. 閉会
資料	【当日配付資料】 別紙1 岸和田市生涯学習支援チーム活動報告 【事前配付資料】 資料1 令和10年度からの次期生涯学習計画等の策定にあたって 資料2-1 生涯学習施策に関する【市民】アンケート調査の概要について（案） 資料2-2 生涯学習施策に関する【市民】アンケート調査のねらい 資料2-3 生涯学習施策に関する【市民】アンケート調査ご協力のお願（案） 資料3-1 生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査の概要について（案） 資料3-2 生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査のねらい 資料3-3 生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査ご協力のお願（案） 資料3-4 生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査送付先一覧（案） (1) 「岸和田市生涯学習基本方針」 (2) 「岸和田市生涯学習実施計画」

1. 開会

2. 案件

(1) 次期生涯学習計画等について

①これまでの岸和田市の生涯学習施策について

②次期計画等の形式について

*事務局より資料1のうち、1及び2について説明。

*委員からの意見、質問等なし。

【会 長】概ね問題ないということなので、令和 10 年度からの施策を推進するにあたっては事務局から提案があった通り、新たな「生涯学習計画」を策定していくことで進めたいと思う。

③今後の進め方の概要について

*事務局より資料 1 のうち、3 について説明。

【委 員】(1) アンケート調査の実施について。10 年前と比べても、各団体の状況や実情が変わってきていると感じている。動向・意見・意識とあるが、(団体の) 実態の調査が必要。例えば団体向けのアンケートで、「一番多い年齢層は」という設問があるが、各年齢層がどういう分布になっているのかを知らなければならないのではないかと。

ボランティア連絡会に携わっていると思うが、市民活動やボランティア団体は今、70 歳代が中心。次に多いのが 80 歳代、その次が 60 歳代。30 歳代、40 歳などの生産労働人口は少なく、若い層が入ってきていない。そういう中で学びの世界も変わってきていると考えられることから、実態調査が必要ではないかと考える。

今後、国の動向が変わってくるし、施策的にも変わっていく。どの団体も後継者や担い手不足で非常に困っているし、学び方も変わってきて、(コミュニケーションは) SNS が中心になってきている。そのあたりを我々も研究したり考えたりしないと、絵にかいた餅のようになってしまわないかと思う。学識経験者とのやり取りや、意見交換等もしながら、色々な意見を聞かせていただきたいと思う。進め方には、そのあたりを加味したほうが良いのではないかと。

【事務局】意見も踏まえ、今後の作業を進めていく。後程、団体向けのアンケートについて個別に審議の時間があるので、意見をいただけたらと思う。

【委 員】今、公民館のあり方について生涯学習支援チームで学んでいるところだが、公民館のあり方・位置付けが大事なポイントになるのではないかと。これは非常に難しい問題だということはあるが、避けては通れない。公民館そのもののあり方とか考え方、また本市における位置付けということを明らかにしていかないと、今後どう進めていくのかということがぼやけたものになってくる気がする。その点も何らかの形で、皆さんで検討する必要があるのではないかと。

【事務局】まさに本市が現在課題として抱えている部分ではあるが、今回の生涯学習計画策定に向けての作業の中で、若しくは次の生涯学習計画で、どこまで踏み込んでいけるかはわからないが、視野に置いて考えていきたいと思う。ただし、実際には施策のソフトの部分に重点を置いた計画になってくると思われるので、審議の過程の中で皆様の意見を伺いながら進めていきたい。

【会 長】(③今後の進め方の概要について) このスケジュールで進めていきたいと思うが、提案通り進めていくということによいか。(異議がないようなので) 詳細については、その都度知らせてもらい、説明の通り進めてもらうようお願いする。

④市民向け・団体向けアンケート調査について

*事務局より資料2-1~3(市民向けアンケート調査)について説明。

【委 員】【問1】「8. 特にない」を選んだ人はその下の「①~⑬から1つ選んでください」とあるが、1つにした理由や、なぜ複数ではないのかという理由はあるか。

【事務局】事務局でも複数回答も考えたが、最終的にはアンケートに回答してもらい、そのアンケート結果を分析していくということを考え、傾向を的確に把握したいということで、1つに絞らせていただいている。

【会 長】全部選びたいという気持ちはよくわかるが、全部選んでしまうと統計的に成り立たなくなってしまう。そうすると、どれが特に考えているものか、見えなくなってしまうので、その一番の理由となっているものを選んでくださいという方がイメージ的に選びやすいかと思う。

【事務局】「理由を下から1つ選んで○印をつけてください」のところの表現を工夫したいと思う。

【委 員】【問9】回答項目の中で、中間支援に関するものが必要ではないかと思う。生涯学習支援チームはそのために作ろうということのできたものだし、サポートセンターやボランティアセンターもそういうこと。伴走型で支える人たちも学びには必要だということから、中間支援に関する項目が必要だろう。「5. 費用がかかる」のところでは助成金や補助金など、そういう回答項目が必要ではないかと思う。

【問11】「4. 地域活動、ボランティア」の括弧内は、地縁型とテーマ型に、類例を整理して書いた方がよいと思う。

【問13】「1つ選んでください」であるが、場所がどうしても1つには限らないということがある。施設によってはなかなか予約が取りにくいところがあり、その中で予約が取れるところで活動しているということもあるので、1つというのは無理があると思う。

【事務局】それぞれ指摘の箇所、ご意見を参考に、できる工夫をしていきたいと思う。

【問13】では、「学習・活動」を行いやすい場所を聞いているので、最も行きやすい場所という意味で「1つ選んでください」という設問にしているのが意図である。

【会 長】【問9】に中間支援の回答項目が欲しいというのはわかるが、中間支援という言葉を知らない人も多い。回答項目に入れる場合は、「中間支援」という項目ではなく、適切なわかりやすい表現にしなければいけないと思う。「7. 適切な指導者がいない」に近いが、「学習支援者がいない」「コーディネーターがいない」などはどうかと思うが、これは事務局と調整し

たいと思う。

【問 13】について、「『学習・活動』が行いやすい場所は全部です」と言われても先ほどの話と一緒に、どこが一番行きやすいのかがわからなくなってしまう。全部と回答されるとどこが一番かわからなくなり、アンケートを取る意味がなくなってしまうので、場所のキャパシティは別として、皆さんの一番行きたいところを回答いただければ良いと思う。

【委 員】例えば設問の場合に、1つではなく3つまでという回答の方法もあると思うが、それについてはどう考えるか。

【会 長】年代と場所のクロス集計をするときに、3つまでという回答方法にすると回答が1つの人もいるし、3つの人もいるので、単純に他と比べられなくなるという技術的な問題がある。1つにしておく、統計がしやすいため、設問の意図がわかりやすいということがある。どちらを選択するのは事務局で意思決定をすれば良いだけの話になる。

【委 員】【問 13】で「1. 岸和田市の公民館」のところに「※各町会の公民館ではありません」とあるが、町会の公民館というのはないので、意図されているのは町会館ではないか。

【事務局】おっしゃるとおり町会館のこと。様々な名前のつけ方があり、〇〇町会館とつけているところもあれば、市の公民館ではないけれども、〇〇町公民館という通称名で呼んでいたり、表札がかかっていたりするところもある。ここでは、市が実施するアンケートであるので、そこをはっきり分けておきたいという意図があり、念のために注釈を入れている。

【会 長】岸和田市で町会館がどのように呼ばれているのかというのは全部は知らないが、「公民館」という名称は、独占的に市立の公民館のみに用いられるものではないので、「私立公民館」や町会の公民館という名前をつけても構わない。

【事務局】市内には町会館で公民館と呼ばれているものが若干ある。

【委 員】このアンケートはどれくらいの回答数を予想しているのか。

【事務局】アンケート用紙を何千通と無作為抽出で送って、それを返信用封筒で回収するということが多と思うが、今回の調査は、その方法を採用せず、QRコードから回答してもらう若しくは市公式LINEからURLを配信し、そこからアクセスしてもらう。または、公民館に置いている調査票で回答してもらうということなので、最初を送る全数がどれだけかという制限はない。回収であるが、岸和田市の市民意識調査などでも採用しているが、標準誤差95%程度を目指している。これは標本調査で調査をしても、95%までは全体の傾向と同じ傾向が出るということであるが、400程度の標本数が必要とされている。今回は400程度の標本数を目指して、周知活動を続けるということを考えている。

【会 長】母集団である岸和田市民全体を推定するのに、統計的に有意であるという数を満たすように、回収数を上げるということだと思う。無作為抽出で調査票を送っても1割ぐらいしか返ってこないというものもある。今回は、QRコードやチラシで皆さんに答えていただくということで、何通返ってくるのかわからないという形式である。少なくとも岸和田市の人口は18万人程度なので、一般的には1,000ぐらいは必要ではないかと思うが計算してみないとわからない。

【委 員】市民アンケート等でQRコードを使った例はあるか。

【事務局】最近の意識調査を実施する場合には、調査票があったとしても、その調査票にQRコードも

添付して、その調査票に記入しなくても、QRコードからの回答を選択できるようになっているものもたくさんある。調査票によらず、QRコードを配布して、意識の動向を探るといような調査をしている例もある。

【会 長】岸和田市でも行われているし、私に関わった貝塚市の市民意識調査でも、QRコードで回答いただくということをしている。QRコードで回答できない人は、アンケート用紙で回答するのが一般的である。

【委 員】（調査を）市民全体に投げかけて標本数が400を想定というのは余りにも少ないのではないかと。標本数が400だと割と高い年齢層の方の回答になると思う。高い年齢層の方の実態も知りたいが、実は若い年齢層の方がどう思っているかなどの意識も調査したいところだと思う。QRコードを使うだけでは回答してもらうための工夫が足りないというか、若い年齢層に聞く手段をもう少し講じないといけないと思う。標本数400で何がわかるのかと言われても仕方がないと思うので、何か工夫するような案はないか。

【事務局】最低でも400は必要だという意味で申し上げた。それと、もう1つは先ほど説明の中でもあったが、広報紙に掲載するだけではなく、市の公式LINEの市政情報の情報を入手したいと登録されている方には、プッシュ方式で送付するという形を考えている。

【委 員】例えば、市立公民館・中央地区公民館には、勉強（自習）に来ている高校生がいるので、そういう人にアンケートに答えてもらうとか、産業高等学校の先生に協力してもらいながら、生徒に回答してもらうなどの具体的な方法をいくつか立てていかなければ、若い人たちからのサンプリングはなかなかできないと思う。情報を得ることが難しい時代なので、ただ漫然と回答を待っているだけではなく、何か工夫が必要だと思う。

【事務局】今の意見も参考に、できるだけたくさんの人、若い人も取り込んだ形で多くの標本が得られるように工夫していきたいと思う。

【会 長】このような調査で回答数を上げるということに関して、生涯学習計画や実施計画を作るのは審議会の委員の皆様との共同作業ということになっていて、このアンケートも計画作成の過程なので、委員の方々がご自身の関係団体にチラシを配布するなどの働きかけをしていただくのが良いのではないかと考えている。学校関係に配ることも考えられると思う。もう1つはLINEで配信するということがあったが、1回だけでなく何回も配信する方が良い。公式Instagramなども活用するのが良い。

【委 員】QRコードのような方法は、いたずらや複数回答されたり、岸和田市と関係のない人が回答されたりなどがあると思う。そういう対策などはどうなっているか。

【会 長】対象外の方がアンケートに回答したり、適当に答えたりする人がいると、統計上意味がないデータになる可能性はある。それをなくすにはどうすれば良いのかというと、数学的な話ではあるがアンケートの回収数を多くすれば、その影響は少なくなる。例えばアンケートの回収数が200しかなければ200分の1の意見となりそれが結果となる。アンケートの回収数なるべく多くするというのが、対象外の人の影響をものすごく小さくするという集計の方法になる。現在の技術では市外の人だけを抽出することはやろうと思えばできるが、とても手間がかかることだと思う。よって数学的に考えるのであれば回収数を多くすれば良いということである。

【委員】確認させていただく。私どもの障害者学級でいうと、当事者である障害者のメンバーは在住・在勤だが、一緒に参加してもらって支援している方が、岸和田市内の方より市外の方が結構多い。その方たちは対象になるか。

【事務局】作成しているこの調査票は、一番最後の10ページを見ていただくとわかるように、基本的には市民の方が対象で、「あなたのお住まいの小学校区はどこですか」という設問になっている。

【会長】原則で言えば、市内在住の方を対象としているので、ご遠慮いただくということになる。在住でない人が、私は在住だと言いながら適当に入力するという人を排除するのは難しいということもあるので、宣伝するときは、在住ではない人はご遠慮いただくということになると思う。（活動団体の市外在住の方については）団体アンケートで団体の意見が集約されるので、公民館を使っている市外の方の意見も含まれることになる。団体アンケートの方で答えるから良いのではないかなと思う。こういうアンケートは、基本的に在住の人のために市が実施するアンケート。市民向けのアンケートに市外の人を含めて集約してしまうと、市民の意見を市の施策に反映させるという趣旨がうまくいなくなる。

【事務局】市外の方もたくさん岸和田市の活動に参加いただいているのは承知しているが、やはり市民の方の動向・意識の調査ということを主眼に置いているので、その点についてはご了解いただきたい。

【委員】岸和田市の公式LINEは何件ぐらいの方が利用されているか。

【事務局】市の公式LINEは色々な分野の受信設定ができるようになっている。市政情報、子育て情報などその方に応じて自分の欲しい情報を選択するような形で受信設定をされているようである。アンケートについては、市政情報の受信設定をされている方に送付する形になり、約8,000人と聞いている。

【会長】市民向けアンケートは表現などわかりやすいように工夫し、実施していくということで進めたいと思う。

*事務局より資料3-1~4（団体向けアンケート調査）について説明

【委員】クラブへの送付はなぜ18団体なのか。

【事務局】公民館・青少年会館の数が、来年度4月から18館になるので、各館1クラブずつアンケートに答えてもらうような形を想定している。

【委員】対象団体の中に地区市民協議会が入っていない。地区市民協議会は、子ども会から、青年団、高齢者までを抱えた地域ごとの組織であるので、全ての地区市民協議会を対象に入れるべきだと思うがどうか。

【事務局】送付先は事務局案として提示している。対象に含むべきという団体等があれば、ご意見を参考に選定をする。

【委員】私はスポーツ協会にも所属しているが、スポーツ協会も各種団体があるので、それぞれの状況もたくさん聞けるのではないかなと思う。それと自由記入欄のところでも良いが、今、中学校のクラブ活動を地域移行しようという動きがあると思う。スポーツ協会でも、中学校のク

ラブを地域移行しようということ色々考えているみたいだが、そういったことに対する意見も書けるようなところがあれば非常に助かるのではないかと思う。

【事務局】 参考にさせていただく。ただ生涯学習施策に関するアンケートの中で、どこまで踏み込んだ設問にするのかというのは少し難しいかもしれない。スポーツ協会を対象団体として調査票を送付するかどうかは検討させていただく。

【委員】 サンプル数が多の方が良いというのは当然である。また、団体に対しては最初に述べたが、実態の調査が必要だと思う。団体は岸和田市の社会教育を進めていく中心たる人たちであるので、そういう人たちの今の状況をまず把握しなければ実態が見えてこない。それは、実際に顔を突き合わせて調査をしてほしいぐらいであるが、少なくともアンケートは広範・多数に配付しなければいけないと思う。とりわけ団体は、実際の活動者なので、その人たちが今困っていること、なぜ活動が停滞をしているのかということをつぶさに見ないとはいけないと思う。最終的には、より社会教育が旺盛に行われるような市となるということを目指しているわけで、そのために一番の当事者が今、何に悩み何に困っているのかを知り、そのことを基に、こういうことをすれば施策に生きていくのではないかということ抽出するためのもの。例えば公民館でも、各館クラブ1つずつではなく、できるだけ多くの団体に聞いていくという努力がないといけないと思う。【問3】で会員の中で最も多い年代を聞いてもあまり意味がなく、団体の年代構成をきちんと聞いておきたいと思う。それにより傾向が出てくる。たとえば高齢化というがその実態はどうなのか。高齢者も暇ではない。孫の面倒を見たり、中には収入が厳しく働いている方もいる。あとは余生を一生懸命頑張ってくださいというだけではない、そういう人たちの実態も変わってきている。若い人たちは若い人たちで、特に学費の問題がものすごく大きくなっている。そうしたことも踏まえて、なぜ、参加できないのかが、そういうところからも問題が見えてきたり、そこに秘められた問題が何なのかというのを把握するために年齢構成はすごく大事だと思っている。【問6】中間支援は、なかなか一般的な文言にはなっていないが、「6. 活動についての相談窓口」「7. 施設の整備・充実」「9. 情報交換の場」など、伴走型で寄り添いながら、関係する人たちと一緒に活動を作り、つなげていくような場所が必要だということがあるので、文言は工夫しながら中間支援を回答項目に入れる必要があると思う。また、皆さんがよく公民館は借りにくいと言う。当日、部屋が空いているのに使えない、申し込みの仕方がよくわからない、施設が使いにくいという人がいるので、そこについての設問が必要ではないかと思う。

補助金の適正化の問題があったが、お金で困っている団体は結構ある。そういう団体の声も、もう少し聞く必要があると思う。3つを選択というのは微妙ではあるが、人、金、もの(場所)があれば活動はできるので、その回答項目をきちんと入れるほうが良いのではないかと思う。

【会長】 重ねて、事務局に質問であるが、団体ヒアリングについて、どのような計画になっているか。今指摘にあったことは、アンケートを実施した後、個別に団体ヒアリングをするということに関わってくるかと思うがどのような計画か。

【事務局】 具体的な進め方はこれからだが、今回、団体に意見など今の現況を伺い、最後に、特に自由記入欄を広く設けているので、その内容などについて、全団体に聞くのは難しいが、どうし

ても意見・要望などについてお聞かせいただきたい団体については、ヒアリングのような機会を設けたいと考えている。

【会 長】 団体アンケートは、何かを統計的にとるというわけではなくて、個別の事例を集めていくということに近い。サンプリング数が多ければ良いというわけではないが、大切なところはしっかりと押さえ、情報を得るといのが目的なので、皆さんの意見を受けて事務局で改善し進めるということによいか。（異議がないようなので）この案件については了承ということで進める。案件は以上。

3. その他

(1) 生涯学習支援チームの活動報告について

*事務局より別紙1について説明。

【委 員】 公民館を拠点として、避難所の開設訓練をしているところはあるか。八木地区市民協議会では毎年2回、12月に防災のトレーニング、8月に組織体制と備品のチェックをしている。こうしたことを公民館単位でやっているところは現在何か所あるか。

【事務局】 地区市民協議会の活動、自治会の活動で、どれだけ実施しているかの数は把握はしていないが、市の指定避難所である公民館では、毎年必ず公民館の施設管理者と避難所担当職員が、備品やスマートフォン型の連絡ツールの感度の確認、避難所開設時の解錠・カギの受け渡しについての確認を行っている。

【委 員】 各地域の公民館も各地区市民協議会の構成団体になっている。例えば八木地区市民協議会では箕土路青少年会館の館長が相談役になっている。八木市民センターも構成団体である。八木地区では避難所を開設する場合のトイレの設置や、煙が充満したときどのように避難できるのかというトレーニングなど、避難所開設訓練の運営は、八木地区市民協議会がしており、公民館は協力しているという形である。そういう活動をしている公民館はいくつあるかという質問だ。

【事務局】 生涯学習課では把握できていない。危機管理課では、把握していると思う。

【委 員】 実態把握が遅れていると思う。こうした活動報告をするなら、岸和田の場合は、実行主体が多分、地区市民協議会になると思う。町内会、町会連合会とは別である。避難訓練をする施設として公民館を使って、公民館が協力してやっている。その実態をきっちり把握しないとこのテーマ自体、中身が無いものに見える。

【委 員】 私は生涯学習支援チームを取りまとめているが、防災をテーマとして選んだのは、1つは皆さんに実感としてわかってもらいやすいテーマであるということからである。最終的な目的は生涯学習支援チームをきちんと作っていくことであって、そのためにはフラッグシップ事業を進めていくということだと思う。ただ、やってみてよくわかったのは、例えば公民館にいる方やその担当課も、すべてを知っているわけではないということである。すべてを知ることが不可能なので、知らないのであればどうするのかといったところで、実は連携がないことに問題があるということがわかった。今、公民館について議論されるのは、予算の問題から。今後、18館になるが、18館の維持管理がどうなっていくのかということで、予算あり

きの議論になっている。元々岸和田市は社会教育が発展した市でもあったので、公民館の果たしてきた役割、また今後、公民館とは一体何なのかということのを改めて学ぼうということで、「防災・避難所」をテーマとして選んでいる。その中でやはり公民館は実はすごく大事だったということがわかってきた。町会館など似たような施設は結構あるが、そこでは補えない「学び」の部分がここにはある。実は避難所としての役割は発災後なので、発災前の災害学習という点での所管は危機管理課というよりも、具体的に実施しているのは生涯学習課の出前講座であったりする。公民館の果たす役割はすごく大きいけれども、自治振興課や危機管理課との連携が日頃からできているわけではないということである。それぞれが個別には頑張っているのかもしれないが、災害のような多岐にわたる課題を抱えたときは、集約するような幅広い連携が必要になってくるということで、ますますこれから公民館というものが必要であろうということのを今考え、悩みながらも進めている。次期生涯学習計画にも関わってくるが、公民館とは一体何ぞやということのを改めて皆さんと考えていきながら作っていきたいと考えている。生涯学習支援チームの委員の皆さんと今、一生懸命検討しているところである。

- 【会 長】社会教育・生涯学習の拠点である公民館は何でもやれるので、反対に何をしているのかわからないということになり、最近流行りの「選択と集中」や「二重行政」と言ってしまうと、何でもできるところはいらなくなるということになってしまうが、そうではないということのを明確に示す必要がある。社会教育主事という専門職がおり若しくは公民館の館長がいる。そういう人が求められている方向性というのは、結局、行政の中で、防災部局とか知事部局（市長部局）などの企画をすところに入っていくって、話を聞いたり連携したりするなどコーディネーターのようなことを役割として目指すというのが、社会教育業界の共通理解である。これだけ公民館があるということで、ソフト面についても、利用する市民の人たちとのつながりも非常に重要であるが、市役所の中の連携ということのも進めた方がよい。そのためには生涯学習関係の人が先頭をきってやっていただければと思う。
- 全体的なところで質問、意見はあるか。（質問・意見がないので）以上で本日の議事を終了する。

*事務局からの報告事項

- 【事務局】光陽地区公民館と、高齢者施設である高齢者ふれあいセンター朝陽の2館を機能集約をし、令和8年4月から「ふれあい光陽公民館」という新しい名前でスタートする。また、久米田青少年会館は、その機能を山直市民センターの中にある山直地区公民館に集約して、令和8年4月からは、18館でスタートする。

4. 閉会

令和7年度 第2回岸和田市生涯学習審議会

と き 令和8年2月13日（金）午前10時から正午

ところ 岸和田市職員会館 大会議室

《 次 第 》

1 開 会

2 案 件

（1）次期生涯学習計画等について

- ①これまでの岸和田市の生涯学習施策について
- ②次期計画等の形式について
- ③今後の進め方の概要について
- ④市民向け・団体向けアンケート調査について

3 その他

（1）生涯学習支援チームの活動報告について

4 閉会

【配付資料】

別紙1 岸和田市生涯学習支援チーム活動報告

【お持ちいただいている資料】

資料1	令和10年度からの次期生涯学習計画等の策定にあたって
資料2-1	生涯学習施策に関する【市民】アンケート調査の概要について（案）
資料2-2	生涯学習施策に関する【市民】アンケート調査のねらい
資料2-3	生涯学習施策に関する【市民】アンケート調査ご協力のお願い（案）
資料3-1	生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査の概要について（案）
資料3-2	生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査のねらい
資料3-3	生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査ご協力のお願い（案）
資料3-4	生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査送付先一覧（案）

（1）「岸和田市生涯学習基本方針」（緑色の表紙の冊子）

（2）「岸和田市生涯学習実施計画」（ピンク色の表紙の冊子）

岸和田市生涯学習支援チームの活動報告について

【組織の概要】

岸和田市生涯学習支援チームは、「岸和田市生涯学習基本方針」に基づき設置したものです。

「生涯学習基本方針」は、第2次生涯学習計画の後継として平成30年に策定されました。

基本方針の基盤となる考え方は、「学習の自由と多様性が、岸和田の人・コミュニティを創り、まちの希望を紡ぎだしく市民自治都市を形成する」というものです。

そのために以下の4つの柱が掲げられています。

- ① 「学び + 実践 + ネットワーキング」の活性化を目指します
- ② インクルーシブ（誰でも出入りできる排除しない）・コミュニティづくりに力を入れます
- ③ 社会教育支援チーム（仮称）を充実します
- ④ フラッグシップ事業を創成します

3つ目の柱となる「社会教育支援チーム」は、学びと実践のつながりがさらに他のコミュニティとつながり続けるために、インクルーシブ・コミュニティづくりの整備を企画する必要な組織とされています。また、4つ目の柱である「フラッグシップ事業」については、令和4年度から「地域と子ども」をテーマに岸和田の子どもたちのために日々尽力されている方々の活動に対して、支援チームが中間支援として何ができるのか検討してまいりました。

フラッグシップ事業「きしわだ マッチング・マーケット」は、令和4年度から3年度連続で、「地域と子ども」をテーマに開催し、この件につきましては、昨年度の審議会でもご報告させていただいております。

令和7年度からは、新任期となり、約半数の委員が入れ替わりました。

2年任期の1年目にあたる今年度は、新たなテーマを検討して議論を進めていくことになりました。

令和7年度の会議について

回	日程	内容
第1回	6月26日	自己紹介、フリートーク（テーマ：子ども・高齢者・公民館）
第2回	8月19日	生涯学習研修会 講師：村田 和子氏（和歌山大学名誉教授）
第3回	10月9日	研修会振り返り、公民館について考える
第4回	12月3日	「防災・避難所」をテーマに議論開始
第5回	1月20日	関係課職員と共に「防災・避難所」について考える
第6回	3月12日	来年度に向けて（予定）

第1回会議は、自己紹介から委員長・副委員長を選出し、生涯学習支援チームの概要説明を行った後、3グループに分かれてフリートークを行いました。

第2回会議は、委員の皆さんが社会教育・生涯学習の基本を学ぶ機会を設けるため、和歌山大学名誉教授の村田和子先生にお越しいただき、「生涯学習研修会」を開催しました。支援チーム委員を

中心に生涯学習に関係する職員やその他の関心のある市職員も対象とし、生涯学習と社会教育の違いなど基本的なことから、他市の実践事例などをご説明いただき、今後の議論で参考になることがたくさんありました。

研修後の第3回会議で、今期のテーマについて検討しました。テーマ案としては、「公民館について考える」とし、自らにとって公民館とは何か、どんな施設になってほしいかなどをグループ毎に議論し、発表しました。

その後、発表のなかに公民館の避難所機能について意見が挙がっていたことを踏まえ、市民全体に関係する「防災・避難所」をテーマに考えていくのはどうかということで、このテーマに沿って進めていくことになりました。

現在、議論を進めているところで、先日の第5回会議では、庁内から危機管理課及び自治振興課職員を会議に招き、それぞれの立場からの意見などもいただきながら、有意義な議論になりました。

「防災・避難所」をテーマに、防災について学びながら、公民館が地域でどのような役割を果たしているのか、地域でのつながりづくりなどを考えるきっかけにしたいと考えています。

そして、令和8年度には「防災・避難所」をテーマにフラッグシップ事業の企画を進めていく予定です。

令和10年度からの次期生涯学習計画等の策定にあたって

1. これまでの岸和田市の生涯学習施策について

岸和田市では、「生涯学習の推進のための施策の推進体制等の整備に関する法律（いわゆる「生涯学習振興法」）が平成2年7月に施行されたことをうけ、本市における今後の生涯学習施策を推進するにあたっての基本的な考え方などをとりまとめ、平成5年9月に最初の「岸和田市生涯学習計画（第1次生涯学習計画）」を策定した。

その後、引き続いて平成16年5月に「第2次岸和田市生涯学習計画（第2次生涯学習計画）」、平成30年4月に「岸和田市生涯学習基本方針（生涯学習基本方針）」を策定し、生涯学習施策を推進してきた。

【生涯学習計画等のあゆみ】

年月	名称
平成 5年9月	第1次生涯学習計画
平成16年5月	第2次生涯学習計画
平成30年4月	生涯学習基本方針
令和 3年4月	生涯学習実施計画（生涯学習基本方針に則る）

現在推進している「生涯学習基本方針」「生涯学習実施計画」は、令和9年度末（令和10年3月31日）までを推進期間としており、令和10年度からの計画（または方針等）の策定について検討していく必要がある。

2. 次期計画等の形式について

現在の「生涯学習基本方針」は理念を中心に取りまとめたもので、策定後、具体的な生涯学習・社会教育施策の方向性や、目標等との結びつきを分かりやすく示すため、基本方針の理念を目標や体系・事業等、より具体的な内容で示した「生涯学習実施計画」を令和3年度に策定している。

次期計画等については、基本理念をはじめ、基本目標や施策体系などを包含する「生涯学習計画」という形式を採用し策定したい。

また、関連施策については、より柔軟な事業実施のため、計画本体への掲載に代えて、この計画の施策体系ごとに整理し、別途、事業シート等を作成し進捗管理を行いたい。

3. 今後の進め方の概要について

(1) アンケート調査の実施（市民向け、団体向け）

市民向けについては、現時点やこれからの生涯学習に関する市民の意識や動向、意見などを、アンケート形式により把握し、これからの生涯学習施策を検討・推進していくための参考資料とする。

団体向けについては、生涯学習（社会教育）に関係する団体から抽出（資料3-4）し、現在の活動の状況や団体が抱える課題などを把握し、今後の活動の活性化のための方策を探る資料とする。

(2) 計画の骨格（案）づくり

アンケート調査の結果や、これまでの事業の振り返り、国・府の動向や他自治体などの事例も参考に今後、本市が取組むべき事項などを整理し、次期計画の基本理念、目標、施策体系などを組み立てていく。

(3) 計画策定にかかる学識経験者等との意見交換の場の設置

計画案の作成作業にあわせて、必要な時期に学識経験者や生涯学習（社会教育）に関係する団体などからご意見をいただく場を設け、計画内容案の一層の充実を図る。

(4) 審議会

令和8年度には、計画（案）策定に係る作業の進捗状況の報告及び計画（案）の審議をいただく。あわせて、令和9年度には、次期計画策定について市から諮問の予定。パブリックコメント実施後には答申をいただきたい。

(5) スケジュールについて、概ね次のとおり（変更の可能性あり）

年度	内容
8	生涯学習にかかるアンケート調査 ・一般市民・関係団体
	アンケート結果の分析
	団体ヒアリング（アンケート調査回答より必要に応じて）
	令和8年度 第1回生涯学習審議会【新任期：委員委嘱】
	令和8年度 第2回生涯学習審議会
	令和8年度 第3回生涯学習審議会（必要に応じて）
9	令和9年度 第1回生涯学習審議会
	令和9年度 第2回生涯学習審議会
	パブリックコメントの実施
	令和9年度 第3回生涯学習審議会（必要に応じて）

生涯学習施策に関する【市民】アンケート調査の概要について(案)

調査の目的	令和10年度を初年度とする生涯学習計画の策定に向けて、現在の市民の学習・活動状況を知り、その現況と課題、市への要望、今後の展望をお聞きし、今後の生涯学習・社会教育施策の推進にあたっての基礎的資料とする。
調査地区	岸和田市全域
調査の対象	岸和田市在住の16歳以上の人(市民)
調査方法	標本調査
配布方法と回答方法	① 広報きしわだに掲載のQRコードからウェブ回答 ② 各公民館等施設窓口での配布・回収箱への調査票の投函
調査項目	別添調査票(案)(資料2-3)および調査のねらい(資料2-2)のとおり
調査期間	令和8年 月 日～令和8年 月 日(日間)
周知方法	① 広報きしわだ・市ホームページ等に掲載 ② 各公民館等施設窓口に案内掲示
備考	<p>① について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内世帯に配布される市広報紙からQRコードの読み取り(ロゴフォームで回答)により、身近なデバイスを用いて参加していただく。 <p>② について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ回答ではなく調査票による回答を希望される場合で、特に実態及びニーズ等の把握が必要な本市の生涯学習施設利用者にも調査に参加していただく。 ・調査内容(設問)については、①と同一。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答者の年齢層割合により、生涯学習への関心度を把握するため、性別ごと・年齢層ごとの必要件数は設定しない。

生涯学習施策に関する【市民】アンケート調査のねらい

(目的)

令和10年度を初年度とする生涯学習計画の策定に向けて、現在の市民の学習・活動状況を知り、その現況と課題、市への要望、今後の展望をお聞きし、今後の生涯学習・社会教育施策の推進にあたっての基礎的資料とする。

(設問のねらい)

		設問項目	設問のねらい
1	問1 sub	学習・活動状況 学習・活動を行っていない理由	現在の活動状況（目的・成果・方法・場所・情報の入手など）を確認し、その傾向を把握する。
	問2	学習・活動目的	
	問3	学習・活動の成果	
	問4	学習・活動方法	
	問5	学習・活動情報の入手方法	
	問6	学習・活動場所	
	問7	【問6】を選んだ理由	
	問8 sub	【問6】の今後の利用意向 利用しない・したくない理由	
	問9	学習・活動での困っていること	
2	問10	今後活動したい希望ジャンル	今後の学習・活動に対する希望する傾向（ジャンル、方法・時間・場所）を把握し、推進すべき方向性を探る
	問11	今後活動したい方法	
	問12	学習・活動したい時間帯	
	問13	学習・活動しやすい場所	
3	問14	得たい情報の内容	情報入手の状況、手段、どんな情報を欲しているかの要望を把握し、情報発信の改善策を探る
	問15	情報を得たい方法	
4	問16	生涯学習施策のへ意見	要望の傾向を把握し、今後注力する事業を探る
	問17	利用者増加施策の意見	利用者を増加させるヒントを得る
5	F1	性別	回答者の基本属性の把握
	F2	年代	
	F3	職業など	
	F4	家族構成	
	F5	お住まいの小学校区	
★	★	自由意見	自由な意見を聴く

生涯学習施策に関する【市民】アンケート調査



ご協力をお願い（案）

日頃から岸和田市の教育行政にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、生涯学習（社会教育）施策をより一層充実させていくため、令和10年度を初年度とする新たな生涯学習計画の策定に向けて、みなさまのご意見をお伺いし、今後の施策に反映させていただきたいと考えています。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外に使用することはございません。

令和8年4月 岸和田市教育委員会

回答にあたって

- ・ 回答は、調査票のあてはまる番号を選んで、直接、○印をつけてください。回答が「その他」の場合など記述が必要な箇所は、（ ）内に内容を具体的に記入してください。
- ・ 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。

調査のお問い合わせ

- ・ ご記入いただきました調査票は、●月●日（●）までに市立公民館、各地区公民館・青少年会館等の窓口にある回収箱へ投函してください。
- ・ 右下のQRコードをご利用のうえ、スマートフォン・パソコン等からご回答いただくこともできます。QRコードをご利用の場合は、この調査票の投函は不要です。

URL:

- ・ ご不明な点や生涯学習についてのご意見などございましたら、生涯学習課までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

生涯学習部生涯学習課 生涯学習推進担当

電話 072-423-9615 FAX 072-423-3011

メール syogaig@city.kishiwada.osaka.jp

スマートフォン・パソコンでの回答はこちらから

QR

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

■生涯学習とは

学校での学習はもとより、家庭、地域、職場などあらゆるところで行われる学習や文化、スポーツ・レクリエーション、趣味・娯楽、ボランティア活動などを含め、人が生涯にわたって豊かに生きていくため、自らの向上をめざしたり、それ自体に楽しみなどを見いだす主体的な活動のことを言います。

1 全員におたずねします。生涯学習への関わりについて

【問1】 あなたは、この1年くらいの間何かを学んだり、活動したりしたことがありますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。8を選んで○印を付けた人はその理由も1つ選んで○印をつけてください。
(学生の方は学校の授業以外の活動でお答えください。クラブ活動は含みます。)

1. 趣味・教養・芸術・文化活動
(音楽・演劇・美術・文学・歴史・料理・茶華道など)
2. スポーツ・健康
(スポーツ・健康・栄養など)
3. 資格取得・職業関連
(仕事に関する知識や技術、資格取得など)
4. 社会問題
(地域課題・環境問題・時事問題・国際問題など)
5. 地域活動・ボランティア
(地区市民協、町内会・自治会、こども会、老人クラブ、PTAなど)
(見まもり活動、子ども食堂、観光ボランティアなど)
6. 子育て・教育
(家庭教育・子育て支援など)
7. その他
(具体的に)
8. 特にない〈理由を下から1つ選んで○印をつけてください〉……………
 - ① 仕事や育児などで忙しく、自分の時間が持てないから
 - ② 外出することが難しいから
(子どもを預けるところがない、介護中なども含む)
 - ③ 講座等開催の時間帯が合わないから
 - ④ 近くに適切な場所や施設がないから
 - ⑤ 費用がかかるから
 - ⑥ 一緒にする仲間がないから
 - ⑦ 家族や周囲の理解、協力が得られないから
 - ⑧ 自分の希望に合った講座や教室がないから
 - ⑨ 人間関係がわずらわしいから
 - ⑩ 参加の手続きが面倒だから
 - ⑪ 必要を感じないから
 - ⑫ その他(具体的に)
 - ⑬ 特に理由はない



8「特にない」を選択した方は【問10】へ

【問1】で1～7のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問2】 あなたが「学習・活動」をしている目的は何ですか。考えに近いものを3つまで選んで○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 家庭や日常生活に生かすため | 6. 友だち・仲間づくりのため |
| 2. 教養を高めるため | 7. 仕事に必要な知識や技術を高めるため |
| 3. 生きがいをもつため | 8. 地域社会に役立つ活動をするため |
| 4. 余暇を楽しくするため | 9. その他 |
| 5. 健康維持や体力づくりのため | (具体的に) |
| | 10. 特に目的はない |

【問1】で1～7のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問3】 あなたはこの1年くらいの間に、学習や活動した成果を生かしたと思いますか。あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

1. 仕事や就職の上で生かしている、または生かせる
2. 地域や社会での活動に生かしている、または生かせる
3. 家庭・日常の生活に生かしている、または生かせる
4. 健康の維持・増進に役立っている、または役立てられる
5. 自分の人生を豊かにしている、または豊かにできる
6. その他(具体的に)
7. 生かしていない、または生かせない
8. わからない

【問1】で1～7のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問4】 あなたは、どのような方法で「学習・活動」をしていますか。主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 公民館等の講座・教室
2. 民間のカルチャースクール
3. クラブ、サークル、同好会
4. 地域活動・ボランティア
(地区市民協、町内会・自治会、こども会、老人クラブ、PTAなど)
(見まもり活動、子ども食堂、観光ボランティアなど)
5. 大学や専門学校などの公開講座
6. 職場の研修・講習
7. 通信教育、オンライン講座
8. 書籍・動画等を使い、ひとりで
9. その他(具体的に)

【問1】で1～7のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問5】 あなたが「学習・活動」を行うきっかけとなった情報は、どこから得ましたか。
主なものを1つ選んで○印をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 市の広報紙、市のチラシなど | 5. 友人、知人の口コミ |
| 2. 市ホームページ、市SNS | 6. テレビ、ラジオ、新聞、民間のチラシなど |
| 3. SNS（市以外） | 7. その他 |
| 4. 施設の掲示 | （具体的に) |

【問1】で1～7のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問6】 あなたが主に「学習・活動」を行っている（行った）場所はどこですか。1つ選んで○印をつけてください。

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 岸和田市の公民館
※各市民センターを含む
※各町内会の公民館ではありません | 8. 岸和田城 |
| 2. 男女共同参画センター | 9. 総合体育館・中央体育館 |
| 3. opsol 福祉総合センター | 10. 運動広場、テニスコート、プール（市営） |
| 4. 文化会館（岸和田製鋼マドカホール） | 11. 岸和田市立小学校・中学校・高等学校 |
| 5. 南海浪切ホール | 12. 町会館・自治会館、町の集会所 |
| 6. 図書館
※各市民センター内図書館を含む | 13. 民間のスポーツジム・カルチャーセンター |
| 7. きしわだ自然資料館 | 14. 自宅 |
| | 15. その他
（具体的に) |

.....
【問6】で1～15のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。
.....

【問7】 【問6】で選んだ施設を利用している理由は何ですか。1つ選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 自宅から近い | 5. 利用料金が安い（または無料） |
| 2. 交通の便が良い | 6. 自宅が便利なので |
| 3. 施設・設備が充実 | 7. その他 |
| 4. 講座内容が魅力的 | （具体的に) |

【問6】で1～15のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問8】 あなたは【問6】で選んだ施設をこれからも引き続き利用したいと思いますか。考えに近いものを1つ選んで○印をつけてください。5を選んで○印を付けた人はその理由も1つ選んで○印をつけてください。

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 今後も引き続き利用していきたい | 3. わからない |
| 2. 機会があれば利用するかもしれない | 4. その他
(具体的に) |
| 5. 利用したくない・利用しない〈理由を下から1つ選んで○印をつけてください〉・・ | |
| ① 利用料金が高い | ⑥ 他の施設が利用できるようになった |
| ② 交通アクセスが悪い(遠い) | ⑦ 利用目的だった活動などをやめた |
| ③ いつもは別の施設を使っている | ⑧ その他
(具体的に) |
| ④ 施設・設備が不十分 | |
| ⑤ 職員等の対応が悪い | |

【問1】で1～7のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問9】 あなたは「学習・活動」をするうえで困っていることはありますか。あれば主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 公民館等の開館時間が短い
2. 講座等開催の時間帯が適当でない
3. 近くに適当な施設がない
4. 施設や設備内容が悪い
5. 費用がかかる
6. 一緒に学習や活動をする仲間が少ない
7. 適当な指導者がいない
8. 家族や周囲の理解が得られにくい
9. 自分の希望に合った講座(内容)などが無い
10. 十分な活動情報が得られにくい
11. クラブ、グループ・サークルがまとまりにくい
12. 外出することが難しい
(子どもを預けるところがない、介護中なども含む)
13. その他(具体的に)
14. 特に感じない

2 全員におたずねします。あなたが今後、してみたいと考える生涯学習について

【問10】 あなたは今後、引き続いて、あるいは新しく活動してみたいことがありますか。
あてはまるものすべてに○印をつけてください。
(学生の方は学校の授業以外の活動でお答えください。クラブ活動は含みます。)

1. 趣味・教養・芸術・文化活動
(音楽・演劇・美術・文学・歴史・料理・茶華道など)
2. スポーツ・健康
(スポーツ・健康・栄養など)
3. 資格取得・職業関連
(仕事に関する知識や技術、資格取得など)
4. 社会問題
(地域課題・環境問題・時事問題・国際問題など)
5. 地域活動・ボランティア
(地区市民協、町内会・自治会、こども会、老人クラブ、PTAなど)
(見まもり活動、子ども食堂、観光ボランティアなど)
6. 子育て・教育
(家庭教育・子育て支援など)
7. その他(具体的に)
8. 特にない → 【問14】へ

【問10】で1～7のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問11】 その場合、今後、どういった方法で「学習・活動」をしたいと思いませんか。主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 公民館等の講座・教室
2. 民間のカルチャースクール
3. クラブ、サークル、同好会
4. 地域活動・ボランティア
(地区市民協、町内会・自治会、こども会、老人クラブ、PTAなど)
(見まもり活動、子ども食堂、観光ボランティアなど)
5. 大学や専門学校などの公開講座
6. 職場の研修・講習
7. 通信教育、オンライン講座
8. 書籍・動画等を使い、ひとりで
9. その他(具体的に)

【問 10】で 1～7のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問 12】 「学習・活動」の時間帯としては、どの時間帯が適当ですか。主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 平日（月～金曜日）の午前 | 8. 日曜日の午後 |
| 2. 平日（月～金曜日）の午後 | 9. 日曜日の夜 |
| 3. 平日（月～金曜日）の夜 | 10. 特に決まっていない |
| 4. 土曜日の午前 | 11. オンデマンド方式 |
| 5. 土曜日の午後 | ※パソコンなどから一定期間いつでも視聴できる方式 |
| 6. 土曜日の夜 | 12. その他 |
| 7. 日曜日の午前 | （具体的に) |

【問 10】で 1～7のいずれかに○印を付けた人にお聞きします。

【問 13】 あなたが「学習・活動」を行いやすい場所はどこですか。1つ選んで○印をつけてください。


- | | |
|---|-------------------------|
| 1. 岸和田市の公民館
※各市民センターを含む
※各町会の公民館ではありません | 8. 岸和田城 |
| 2. 男女共同参画センター | 9. 総合体育館・中央体育館 |
| 3. opsol 福祉総合センター | 10. 運動広場、テニスコート、プール（市営） |
| 4. 文化会館（岸和田製鋼マドカホール） | 11. 岸和田市立小学校・中学校・高等学校 |
| 5. 南海浪切ホール | 12. 町会館・自治会館、町の集会所 |
| 6. 図書館
※各市民センター内図書館を含む | 13. 民間のスポーツジム・カルチャーセンター |
| 7. きしわだ自然資料館 | 14. 自宅 |
| | 15. その他
（具体的に) |



次のページにお進みください。
まだアンケートは続きます。

3 全員におたずねします。生涯学習に関する情報について

【問 14】 あなたは「学習・活動」を始めたり、続けていくうえでどのような情報を得たいと思いますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 催し物や講座の内容について
2. 施設内容や利用方法について
3. 一緒に活動する仲間やグループについて
4. 学習・活動にかかる内容（指導者、費用、必要な資料や本など）について
5. 学習相談、学習成果の活用について
6. その他（具体的に _____)
7. 特にない・必要ない  【問 16】へ

【問 15】 それでは「学習・活動」の情報はどこから得たいと思いますか。主なものを1つ選んで○印をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 市の広報紙、市のチラシなど | 5. 友人、知人の口コミ |
| 2. 市ホームページ、市SNS | 6. テレビ、ラジオ、新聞、民間のチラシなど |
| 3. SNS（市以外） | 7. その他 |
| 4. 施設の掲示 | （具体的に _____) |

4 全員におたずねします。岸和田市の生涯学習施策について

【問 16】 生涯学習活動を一層活発にするために、市の施策として特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. どこでも学べる学習機会の充実
(オンライン、オンデマンド講座の実施)
2. 適切な情報提供
(講座情報、講師、活動団体などの情報)
3. 誰もが利用しやすい施設・環境の充実
(デジタル化、バリアフリー化、備品の更新、預かり保育、外国語対応など)
4. 講座など市の事業の充実
(定期講座、短期講座、高齢者大学や各学級などの充実)
5. 人材の育成
(市民・地域活動を支援する人材育成)
6. 学習支援
(学び直しや、ライフステージに合わせた学習テーマの提供など)
7. 学習成果の発表と地域活動の推進
(学びの成果を地域の課題解決に生かすこと)
8. 連携の推進
(市、大学、NPO、民間団体などとの相互連携)
9. その他
(具体的に)
10. わからない

【問 17】 市の生涯学習施設・生涯スポーツ施設について、利用者を増やすためにはどのようなことが必要だと思いますか。主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 老朽化したり手狭になった施設の整備 | 7. 講座・催し等の事業内容の充実 |
| 2. 施設の設備内容や備品を充実 | 8. 職員の資質や接遇スキルの向上 |
| 3. 現在の利用時間を変更あるいは延長 | 9. その他 |
| 4. 利用手続きの簡略化や、デジタル化 | (具体的に) |
| 5. 使用料の引き下げ | 10. わからない |
| 6. 学習・活動中の預かり保育 | |

5 全員におたずねします。あなた自身のことについて

【F1】あなたの性別

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 答えたくない |
|------|------|-----------|

【F2】あなたの年齢

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 4. 40歳代 | 7. 70歳代 |
| 2. 20歳代 | 5. 50歳代 | 8. 80歳以上 |
| 3. 30歳代 | 6. 60歳代 | |

【F3】あなたの職業など

- | |
|------------------------|
| 1. 農林漁業 |
| 2. 自営業 |
| 3. 会社員・公務員・役員 |
| 4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員 |
| 5. 学生 |
| 6. 家事労働（専業主婦・専業主夫） |
| 7. 無職・求職中 |
| 8. その他 |

【F4】現在のあなたの家族構成（同居している家族）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 単身 | 4. 親・子・孫（3世代） |
| 2. 夫婦 | 5. その他 |
| 3. 親と子（2世代） | |

【F5】あなたのお住まいの小学校区

- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 中央 | 7. 太田 | 13. 大宮 | 19. 光明 |
| 2. 城内 | 8. 天神山 | 14. 城北 | 20. 常盤 |
| 3. 浜 | 9. 修斉 | 15. 新条 | 21. 山直北 |
| 4. 朝陽 | 10. 東葛城 | 16. 八木北 | 22. 城東 |
| 5. 東光 | 11. 春木 | 17. 八木 | 23. 山直南 |
| 6. 旭 | 12. 大芝 | 18. 八木南 | 24. 山滝 |

小学校区がわからない方は町丁名を記入ください（町 丁目）

生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査の概要について(案)

調査の目的	令和10年度を初年度とする生涯学習計画の策定に向けて、団体の意見及びニーズ等を把握し、今後の生涯学習・社会教育施策の推進にあたっての基礎的資料とする。
調査の対象	【資料3-4】のとおり
調査方法	標本調査
配布方法と回答方法	各団体の登録メールアドレスに送付するQRコードからウェブ回答または、調査票による回答とし、最寄りの公民館等へ提出いただく
調査項目	別添調査票(案)(資料3-3)・調査のねらい(資料3-2)のとおり
調査期間	令和8年 月 日～令和8年 月 日(日間)
周知方法	該当団体に直接回答依頼
備考	<ul style="list-style-type: none">・生涯学習課等に登録しているメールアドレスに送付するQRコードの読み取り(ロゴフォームで回答)により、身近なデバイスを用いて参加していただく。・ウェブ回答ではなく調査票による回答を希望する団体や、メールアドレスの登録がない団体には調査票を送付する。

生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査のねらい

(目的)

令和10年度を初年度とする生涯学習計画の策定に向けて、団体の意見及びニーズ等を把握し、今後の生涯学習・社会教育施策の推進にあたっての基礎的資料とする。

(対象団体)

【資料3-4】に記載の対象団体とする（但し、公民館のクラブは一部抽出）。

有料団体（貸館のみ）は対象外。

(設問のねらい)

分類		設問項目	設問のねらい
属性	問1	団体情報	基本属性の把握
	問2	団体の会員数	
	問3	会員の多い年代	
	問4	団体の活動年数	
団体の課題	問5	団体の課題	団体の課題を把握し、改善の方向性を探る
	問6	【問5】に対する市への要望	
今後の活動に向けて	問7	活動を推進していくための意見	推進していくための意見を把握し、方向性を探る
★	★	自由意見	団体独自の意見の把握

生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査

ご協力をお願い（案）



日頃から岸和田市の教育行政にご理解ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

本市では、生涯学習（社会教育）施策をより一層充実させていくため、令和10年度を初年度とする新たな生涯学習計画の策定に向けて、団体のみなさまのご意見をお伺いし、今後の施策に反映させていただきたいと考えています。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。

令和8年4月 岸和田市教育委員会

回答にあたって

- ・回答は、調査票のあてはまる番号を選んで、直接、○印をつけてください。ご回答が「その他」の場合など記述が必要な箇所は、（ ）内に内容を具体的に記入してください。

調査のお問い合わせ

- ・ご記入いただきました調査票は、●月●日（●）までに市立公民館、各地区公民館・青少年会館の窓口にご提出ください。
- ・右下のQRコードをご利用のうえ、スマートフォン・パソコン等からご回答いただくこともできます。QRコードをご利用の場合は、この調査票の投函は不要です。

URL:

- ・ご不明な点や生涯学習についてのご意見などございましたら、生涯学習課までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

生涯学習部生涯学習課 生涯学習推進担当

電話 072-423-9615 FAX 072-423-3011

メール syogaig@city.kishiwada.osaka.jp

スマートフォン・パソコンでの回答はこちらから

QR

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

■生涯学習とは

学校での学習はもとより、家庭、地域、職場などあらゆるところで行われる学習や文化、スポーツ・レクリエーション、趣味・娯楽、ボランティア活動などを含め、人が生涯にわたって豊かに生きていくため、自らの向上をめざしたり、それ自体に楽しみなどを見いだす主体的な活動のことを言います。

【問1】 団体情報について記入してください。

(ご意見等についてお伺いする場合がございますので、できる限り記入にご協力ください)

団体名称			
代表者名		調査票 記入者名	
記入者連絡先 (電話, メール等)			

【問2】 あなたの団体の会員数について、あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

- | | | | |
|------------|------------|-------------|--------------|
| 1. 10人以下 | 3. 21人~30人 | 5. 41人~50人 | 7. 101人~200人 |
| 2. 11人~20人 | 4. 31人~40人 | 6. 51人~100人 | 8. 201人以上 |

【問3】 会員の中でもっとも多い年代について、あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

- | | | |
|----------|---------|---------------|
| 1. ~10歳代 | 4. 40歳代 | 7. 70歳代 |
| 2. 20歳代 | 5. 50歳代 | 8. 80歳代~ |
| 3. 30歳代 | 6. 60歳代 | 9. 幅広い世代でほぼ均等 |

【問4】 あなたの団体の活動年数について、あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 3. 3~5年未満 | 5. 10~20年未満 |
| 2. 1~3年未満 | 4. 5~10年未満 | 6. 20年以上 |

【問5】 あなたの団体が現在抱えている課題はどのようなものがありますか。主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 会員数が減少している | 7. 他の団体との交流が少ない |
| 2. 会員数が増えすぎている | 8. 活動を普及するための機会が少ない |
| 3. 会員が高齢化している | 9. リーダーや指導者が不足している |
| 4. 活動の費用が不足している | 10. その他 |
| 5. 活動・練習の場所が不足している | (具体的に) |
| 6. 活動に必要な情報が不足している | |

【問6】 あなたの団体が抱えている課題に対して、市に望む取組についてはどのようなものがありますか。主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 団体の活動情報のPR | 6. 活動についての相談窓口 |
| 2. 活動発表の場の提供 | 7. 施設の整備・充実 |
| 3. 指導者の養成、研修の支援 | 8. 他団体とのマッチング |
| 4. 市と団体が連携するイベントの開催 | 9. 情報交換の場 |
| 5. スキル向上などの学習情報の提供 | 10. その他 |
| | (具体的に) |

【問7】 今後、生涯学習・社会教育活動を推進していくために、市の施策としてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

- | |
|---|
| 1. どこでも学べる学習機会の充実
(オンライン、オンデマンド講座の実施) |
| 2. 適切な情報提供
(講座情報、講師、活動団体などの情報) |
| 3. 誰もが利用しやすい施設・環境の充実
(デジタル化、バリアフリー化、備品の更新、預かり保育、外国語対応など) |
| 4. 講座など市の事業の充実
(定期講座、短期講座、高齢者大学や各学級などの充実) |
| 5. 人材の育成
(市民・地域活動を支援する人材育成) |
| 6. 学習支援
(学び直しや、ライフステージに合わせた学習テーマの提供など) |
| 7. 学習成果の発表と地域活動の推進
(学びの成果を地域の課題解決に生かすこと) |
| 8. 連携の推進
(市、大学、NPO、民間団体などとの相互連携) |
| 9. その他
(具体的に) |
| 10. わからない |

★アンケート項目は以上です。最後までご協力ありがとうございました。

生涯学習について、あるいは岸和田市における生涯学習の進め方についてご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。(次ページ)

生涯学習施策に関する【団体】アンケート調査送付先一覧（案）

	団体名	団体数	団体類型
1	青少年指導員協議会	1	社会教育関係団体
2	市PTA協議会	1	社会教育関係団体
3	市こども会育成連絡協議会	1	社会教育関係団体
4	青年団協議会	1	社会教育関係団体
5	ボーイスカウト岸和田第4団	1	社会教育関係団体
6	ボーイスカウト岸和田第5団	1	社会教育関係団体
7	ガールスカウト大阪府第78団	1	社会教育関係団体
8	障害者学級しゃぼんだま	1	社会教育関係団体
9	岸和田障害児のためのサマースクール	1	社会教育関係団体
10	カウンセラー協議会（新緑会）	1	青少年育成団体
11	高齢者大学	20	公民館事業
12	女性学級	11	公民館事業
13	家庭教育学級	10	公民館事業
14	おやこ文庫	4	公民館事業
15	公民館活動団体（クラブ）	18	公民館活動団体
16	子どもの居場所教室（Jr. オーケストラ）	1	青少年事業
17	子どもの居場所教室（陶芸）	1	青少年事業
18	放課後子ども教室	7	青少年事業
19	学校支援地域本部	1	青少年事業
20	図書館友の会	1	審議会関係団体
21	きしわだ自然友の会	1	審議会関係団体
22	岸和田市文化協会	1	審議会・支援チーム関係団体
23	岸和田女性会議	1	審議会・支援チーム関係団体
24	老人クラブ連合会	1	審議会関係団体
25	民生委員・児童委員協議会	1	支援チーム関係団体
	合計	89	